

07年 ふらすこ 第3号

発行 2007年8月

発責 北海道勤医協検査技師部会

これ、実際に経験しました。イケ面(当時はそんな言葉ありませんでした。ハンサムは死語なの?) 男子高校生が目の前で青白くなり、そしてストップモーションか何かのようにゆっくりとユラリと落ちてゆきました。皆さんも、イケ面男子には充分に気を付けて下さいませ。

～今月のヒット川柳～
イケ面は 倒れるかもよ 採血中

毎日暑い日が続いております。皆さんいかがお過ごしでしょうか？
今年は日本列島記録的な猛暑ということで、首都圏の電力需要はうなぎ上り！ついには、8月23日に17年ぶりの一部電力供給ストップという事態が発生しました。74年ぶりに最高気温も更新されるなど(1933年7月に山形市で記録された40.8度の過去最高気温が、8月16日に岐阜県多治見市、埼玉県熊谷市の両市で40.9度の最高気温が打ち出されたっ！！う～ん、聞いているだけで汗がしたたり落ちそうです！)地球温暖化という言葉をも身を持って知る怖さであります。

札幌も暑い！中央病院のエコー室ではナ・ナ・ナント、氷柱が2本立ちました。連日の猛暑でクーラーもオーバーヒートし、「休ませて下さい」と弱々しく喘ぐのみ。そこに登場したのが、電器の力になんぞ負けやしないぜ！といなせな氷柱2本組。マイナスイオンにさらされて心癒やされていく、そんなエコなエコー室でありました。

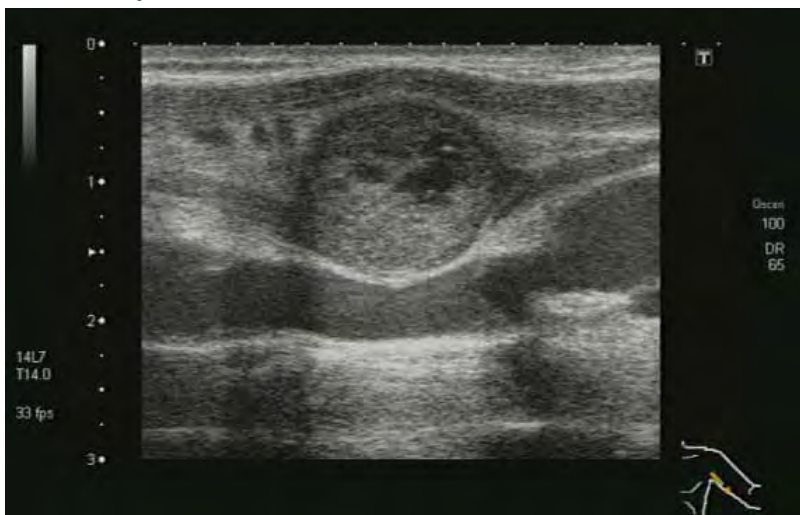
さあ、暑さに負けてなんかいられません。今月も元気に「ふらすこ」いっちゃいましょう！！

快挙！フォトコンテストで優秀賞！！

去る7月14日(土)に、札幌医科大学にて北海道超音波検査研究会30周年記念大会がとり行われました。今や画像診断は医療現場に切っても切り離せないものであり、特に超音波検査はたくさんの情報を与えてくれるわりに取り扱いが簡便で、何より侵襲性がないというところで活躍の場を広げています。しかし、超音波を当てれば誰もがすぐに画像を出せるものではなく、また映し出された画像を読み解く力も必要とされます。写真一枚にどれだけの情報量を臨床側へ返せるかが求められてくるのです。

そんな中、超音波研究会30周年記念大会のひとつとして企画された『フォトコンテスト』に、我が中央病院検査科 板垣史代さんの提出した写真が見事、優秀賞に選ばれました。外からは見えない腫瘍が身体の中のどこに潜んでいるのか、どんな性状なのか。板垣技師の写真は審査員から大変高い評価を受け、この大会の場で表彰されました。

後日、北海道医療新聞社の記者が取材に訪れ、7月27日付けの新聞に板垣技師の顔写真付で紹介されました。



神経鞘腫 (正中神経幹由来)

左上腕内側、上腕二頭筋と上腕静脈の間、正中神経幹に連続した、境界明瞭、辺縁平滑で整な楕円形の腫瘍。14 x 12 x 11 mm。

内部エコーは筋層よりやや高エコーで均一。内部に小さなう胞性の部分が散在。

後方エコー増強あり、上腕静脈を軽度圧排。

拇指、示指を支配する正中神経の位置を把握、腫瘍との位置関係をわかりやすく描出するよう心がけた。



勤医協中央病院 検査科 板垣 史代技師

(超音波検査士の資格取得 - 消化器・表在)

趣味は イラスト作成 写真

昨年まで、勤医協新聞の4コマ漫画を19年・350回にわたり担当していました。自慢のカメラで花や風景を撮りに出かけるのも楽しみのひとつのことです。

取材風景・・・記者の質問に、一言一言真剣に答えています。神妙な面持ちですね。『CTやMR画像とも併せて裏付けをとることでさらにスキルアップへつなげています。ドクターの要求に応えるためにも広い分野で常にアンテナ高くありたいですね！ 板垣談』

板垣さん
おめでとうございます！
これからもますます光り輝いて！！

～技師川柳～

サラリーマンだけが辛いんじゃないっ！
技師だって川柳を詠んで
日常の悲喜交々を表現したいんだっ！！

大好評の技師川柳！ 第3弾も快調です！！ 今回は脳波室からも届けられました。5・7・5の織成す世界。17文字という括りの中で、いかに情景を、いかに心情を表現出来るか。日本語って面白いものですね。皆さんの投稿、編集部一同心待ちにしております！！(匿名希望モチロンOK)

針先の 震えがとまらぬ 初採血

(初採血は本当に冷や汗もので、無事成功した時は思わず患者さんに抱きつきたくなりました！)

見えないな 血管探して 汗ポタリ

細いわねえ 採血失敗 人のせい

(やはり、採血に関することが多いですね。それだけ皆さん苦勞されているということでしょう。)

患者さんと 一緒にうとうと 脳波室

(禁断の脳波室、私なら秒殺です。私は誰かって？ ご安心を、脳波検査には入ってません)

利き酒の ようにふるふる 尿コップ

(尿コップを利き酒に例えられるなんて、なんてイマジネーション豊かなんでしょう)

えっ！？ 誰の詠んだ川柳かって！？ 現・札幌技会長だなんて、口が裂けても言えません！)

~札幌技・会員親睦会に参加して~ Go! Go! ファイターズ!!



西区・検査科 中西 富美子

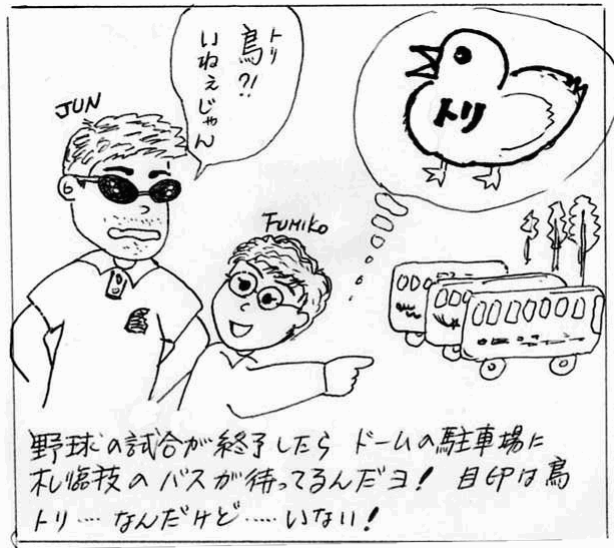
札幌技師会主催の交流会に初めて参加しました。

7月7日(土)・日ハム対ロッテ(札幌ドーム)観戦とサッポロビール園でのジンギスカン・ビール飲み放題付きで、何と!!お一人様¥2,000という破格の料金設定にすぐにも申し込みをしたかったのですが、「まわりが知らない人たちがばかりだったらどうしよう・・・」と人見知りの私は、チョット尻込み。グズグズしていたのですが、「きっと会長のケエさんやエラさんは来るに違いない・・・」と信じ申し込み、なんとか先着100名に間に合いました。

春先は今いち調子が出なかった日ハムも、7月7日・当日はパ・リーグの首位、2位はロッテという首位攻防戦で盛り上がりも最高潮!試合は日ハムの負けムード濃厚でしたが、後半追い上げ延長戦となった10回裏(11回か?)小谷野選手が初球を打って逆転サヨナラホームラン!日ハム勝ちましたが、あまりにあっさり打ったので、実は打ったとこ見てなかったんですけど・・・でもTVで見ていた稲葉ジャンプで球場全体がグワァ〜と揺れる感覚を体験出来て大感激でした。

試合後は、札幌技の“トリ”の案内役でサッポロビール園行きのバスに乗って移動。道路の渋滞によりビール園到着が遅くなりましたが、車中は“トリ”に反応してくれる対向車のおばさんや、学校帰りの女子高生、近寄ってくる小さい子供達の様々な表情に飽きる事なく楽しめました。

ビール園でも盛り上がった事は言うまでもありません。皆さんも札幌技主催の交流会に是非参加してみてください。



中西さん、とっても可愛らしく漫画で紹介していただきまして大感激です!
どこでも飛んで現れますので、是非呼んで下さいね
(あっ!ニワトリは飛べませんでした。アハハ)

乳房超音波講習会に参加してマイリマシタ！！

去る8月18・19日(土・日)に札幌コンベンションセンターにて、第24回乳房超音波講習会に参加して来ました。

主催は日本乳腺甲状腺超音波診断会議教育委員会(JABT)。乳腺超音波診断精度の向上を図るため全国を股にかけ行われている大変人気の高い講習会が、今年の夏、ナント札幌で開催されると聞きつけて、講習会費29000円の懐の痛みはグッと我慢し(交通費・宿泊費がかからないのはお安いプランだ！と言いつけ)参加申込をした経過であります。その人気の高さから、もしかして選考落ちするかな？とも思っていたのですが、時期的に通常より申し込みが少なく、北海道からの参加者は全員受講出来たとのことでした。

講習会の数日前に封書が届けられ、その中に入っていた資料を見てまたガタガタと震えてしまいました。うわっ、凄いメンバー！！参加者の名簿には超音波で名を轟かすツワモノどもがびっしりと連なっていたのです。場違いだったかなあ・・・、とかなり弱気な私。スケジュールも朝から晩まで缶詰状態でびっしりと講義が組まれています。当日は自分で撮った写真を1症例お持ち下さい、との指令までもが。

当日、部屋に入ると一人一人にノートパソコンが配られ、全体講義が終わると小グループに分かれての移動教室。パソコンは「病変を見つけるコツ」「いろいろな病変」を動画で見ながら、要精査とする病変を検出する演習。自分の答えと解説が一致するかどうか、わからないものは何度も繰り返し動画を見続けました(目薬持って行ってヨカッタ！)。ハンズオンでは模型の乳房を使って見ていくわけですが、隣に立っている講師からいきなり「ゼリーはいつもこんな付け方するの？」との厳しいチェック！フォーカスは？走査手技は？の矢継ぎ早の質問にタジタジとなりながらの50分。持っていった写真も、なぜか私の番になるとちょうど運悪く(!?)移動時間と重なり、違うグループの受講者・講師の方々の目にもふれる羽目となり、「なんじゃこりゃ」の世界でした。トホホ。

そんなこんなで1日目終了。2日目の最終日は画像試験が待っています。50問の静止画と50問の動画。静止画はカテゴリー分類と病変の診断。動画は精査に回すか回さないか、つまりはカテゴリー1・2と読むのか、3・4・5と読むのか。しんと静まりかえる教室で、マウスを鳴らす音だけが耳に響いてきました(なーんて、本当はそんな周りを見渡している余裕もありません。パソコンとにらめっこ。必死でした)。

こんな感じで2日間の講習会はなんとか無事終了致しました。『29000円は全然惜しくないっ！！』これが、講義を終えた私の第一声です。本当に勉強になりました。あんまり大きなことを言うと、なんでそれが日常の業務に生かしきれないのよっ！！(中島主任風の声色で読んでね)と突っ込まれそうなのですが、それでも、講義を受ける前と後では目が違ってる気がするのです。そんな達成感のある講習会ってそう多くはないと思いませんか。皆さんも機会があれば乳房超音波講習会に参加されますこと、是非お勧め致します。えっ！？試験の結果は？って、それは聞かない約束でしょ！ by エラ

8月24日(金) 18:30~

**循環器ジャンル別
&
伝達講習会**

講師：前田 有香さん
場所：中央病院心電図奥の
カンファレンスルーム

9月12日(水) 18:30~

**エコー・ジャンル別
交流会
~『肝・胆・膵』基本に振り返って~**

場所：札幌病院
講師は3人、皆でマナボウ！！